

近畿大学医学部奈良病院では

「大腸腫瘍による腸閉塞に対する減圧治療(主に大腸ステント)の有効性に関する疫学研究」
を行っております。

登録・研究の目的と意義

大腸腫瘍による閉塞症状に対して、欧米では大腸ステントは確立された有効な治療方法ですが、本邦においては保険収載となったのが2012年であり、本邦における治療成績を把握することは重要です。当院では、本治療の疫学調査および治療成績向上を目的として、登録集計分析を行っています。

登録・研究の方法

2000年以降に大腸腫瘍による閉塞症状に対して手術を含めた減圧治療が行われた患者様はすべて登録の対象とします。追跡登録は登録後5年間行い、予後についても解析します。

データは当院消化器外科が集計分析し、結果を学術集会・学術論文に報告致します。詳しくは主治医にお聞きください。

倫理的配慮について

登録いただいたお名前やご住所などの個人を特定できる情報は入力いたしませんので、病院外に個人情報が出ることはなく、個人が特定されることは一切ありません。また、この入力には当院の医師と決められたスタッフのみが担当しますので、あなたのプライバシーは守られます。

登録・研究の詳細についての関連リンク

本研究の詳細などについては、当院消化器外科のホームページをご覧ください。

この登録・研究のデータベースに登録されるのを希望されない場合は、お手数ですが下記へご連絡ください。

連絡先:近畿大学医学部奈良病院 消化器外科 井上雅智 (担当:竹山廣志)

電話 0743-77-0880